

修了評価の方法

評価基準作成者： 鋤田 優一

評価方法及び合格基準	1 出題範囲 ・「(2) 介護における尊厳の保持・自立支援」から 「こころとからだのしくみと生活支援技術」までとする。 2 出題形式 4 肢択一形式とする。 3 出題数 40 問 4 合否判定基準 60 点以上 5 不合格になったときの取扱い ・結果発表後、1 時間の補習のうえ再評価を行う。 なお、再評価に関わる合格基準も 60 点以上とする。 補習料・再評価料は無料とする。 ・再試験は最大 3 回までとしすべて不合格になった者は未修了者として扱います。
------------	---